

## 第1回 嚮陽会館複合交流施設整備検討委員会議事録

日時：令和5年6月22日（木） 13時30分～15時00分

場所：第2委員会室

出席者：嚮陽会館複合交流施設整備検討委員会委員 14名中10名

鯖江市：総務部長、政策経営部長、健康福祉部長  
事務局（総合政策課）

### 議事1 嚮陽会館複合交流施設のあり方について

事務局説明

委員長 嚮陽会館がどのような施設として利用されていたのか。コロナなどを経て利用者のニーズも変わってきているので、作られた当時のような多くの人々が利用する施設ではなくなってきたことを示していると思う。嚮陽会館の周辺エリアには様々な公共施設が集積している。市民や周辺市町の人々がここにいけば文化や福祉があるという場所のイメージを、嚮陽会館を中心に考えた場合、これからの時代にどうなっていくかという市側の考え方を示されたと思う。施設は作られ使い続けられるのが一番だが、必ず利用数は減少していく。時代に応じて中身を変えていきながら施設が持っているポテンシャルを引き継いでいくことが都市機能の中では重要なことで、それを行政は考えていかなければならない。

本日集まっていた皆さんの意見・感想をお聞きしたい。

委員 大枠は理解できるし将来的にこういった考えが必要と思う。各分野の方がそれぞれ意見を言うまとまりにくいのではないかと危惧している。

施設の面積カットということも出てくるので施設の有効利用は必要だと思う。

市民活動に関しては幸い市長の理解もあり、市民活動も活発的に行われている。ここ2.3年はコロナの影響もあり市民活動が形骸化しているのも現状。

今回の改修を機に、市民が主役になってできる市民主役所構想をあげた。市民が主体となって運営できる施設としたい。鯖江市においても新幹線問題やまちなかの活性化などの課題を抱えている中で、行政ができない部分は市民と一緒にあって同じ方向を向く必要がある。この施設をシンボリックな良い施設にしたい。

委員 前の委員が言われたように、人それぞれの想いで話すと目的があやふやになってしまう。ある程度の方向性が必要。嚮陽会館は鯖江の施設でもメイン格になる施設だと思うので慎重になるべきと思う。

委員 円を中心に考えると嚮陽会館は西山公園と近く必要な施設だと思う。他の施設とつながりを持った施設になるとさらに良いと思う。

子育てする立場から言うと、西山公園は外で遊ぶ場所で悪天候の時に中で遊ぶところがない。雨天のときは、となりの嚮陽会館で遊ぶことができると、とてもよい。西山公園は坂の上であり、高齢者は利用しづらい面もある。嚮陽会館も公園としての機能があるよいと思う。

委員長 一つの施設でやるのではなく、各施設が連携するのが重要。そのためにもそれぞれの施設の特徴を知る必要がある。

委員 西山公園はよく利用していたが、嚮陽会館と NPO センターについては、PTA の役員をすることではじめて利用した。

今日の説明を聞いて、それぞれの施設のあり方がよくわかった。

コンサートといえばサンドームというように、嚮陽会館のリニューアルにあたって、育児や学びなどの成長にかかわっていくシンボルとなるとよいと感じた。

子育てといえば、母親の役割というイメージがまだまだ強いなかで、お父さんも主役となるような施設ができるとよいと思う。

委員長 「市民が主役」というキーワードが共通して出てきた。他の市ではあまり見られない特徴。

委員 周辺の住民としては、嚮陽会館を避難所として考えてほしい。

町内公民館は避難所としてはお世話しづらい部分がある。

嚮陽会館の耐震関係についても心配している。外壁についても不安がある。内部も改修すると、かなりの費用が見込まれる

どのようにしていったら、みんなが使いやすい施設となるのか、皆さんで考えていきたい

委員 有定町も避難する場所として、プロムナードに避難することになっている。

昨年の水害のときに、増水したが、近くに避難する場所があるとよいと考えている。

桜の時期、つつじの時期にたくさんの方がみえると、駐車場がない。駐車場難民が、町内をぐるぐるまわっていて、周辺住民の交通の弊害になっている

老朽化している施設について、改築するのか、改修するのか、その辺のところを知りたい。

事務局 いろいろな意見をいただきありがとうございます。

施設について基本的には改修を考えている。

躯体的に大丈夫と判断されたところは改修となるが、建物自体が危険であるところは取り壊しもありえる。専門家の判断を参考としながら今後、検討。

行政としては公共施設を 2 割削減という目的もあり、不要となった施設については、違う機能に転換したり、取り壊しをしたりする。

耐震性については、新耐震基準に適合しているため、問題なし。一部の天井は特定天井に該当するため、改修が必要。

委員 整備計画はすばらしい、時代にあった計画だと思う。

それがもっと、芸術文化にもいい方向にいくようお願いをしたい。

①西山公園をベースとして嚮陽会館は親子の場とするのなら、まなべの館の周辺はまなびと文化芸術の場としてゾーニングしてほしい。

②嚮陽会館のギャラリーが遊具置き場になった場合展示スペースが少なくなる。どこかで確保してほしい。大きなイベント開催のときのメインの会場として大きな位置づけがあり、市外の人にも人気もある。

市の美術展もそこをメイン会場として活動している。こういうことを機会に、まなべの館をメイン会場としていくことが、市民の芸術文化に携わる人を広げることとなる。市の文化基盤になると思うので計画を丁寧に進めてほしい。

③NPO センターの跡地の活用について、市の芸術文化や歴史の拠点として、NPO 跡地を活用できないか。

使用料が嚮陽会館は高額。まなべの館は使いやすい使用料であるため、さらにそこを文化の拠点として確立するために、文化芸術ゾーンとして一体的に整備してもらえないか。

嚮陽会館は生活に密着した施設として、喜ばれる人は多いと思うが、文化芸術を携わる人のことも考えて、見逃さず、整備計画を進めてほしい。

委員

子育て支援センターはおうちで子育てをしている方にとって、屋内遊戯施設としての機能もある。

先日、にじいろ2023というイベントを嚮陽会館でさせてもらったとき、700名の来場があり、アンケートを取った結果、屋内遊戯場への希望は大変大きかった。

雨の日に遊べる施設がほしいという意見だが、西鯖江の駅近くに「にじいろ」がある。同じ役割でなく、役割分担を。

西山公園とのつながり、越前市はだるまちゃん広場がある。鯖江は鯖江らしい施設になるとよいと思っている。

委員長

委員の皆さんは、前向きな意見が多く、共通している意見もあるように感じた。

委員

観光というと外部からの人がどんどん訪れるというイメージだが、観光をツールに地域のためにやっていくというのがコンセプト。

地域でできるビジネスを生むということが、目的。そこにきちんと収益という観点を持つことが大切。

例えば、桜の時期、つつじの時期にたくさんの方がくる。その時だけ、駐車場を貸してくれるところを探して、お金をおとす、ということができないか、など。地域のいろいろな課題を、手段を用いて前向きに解決していくのが主な仕事。

中小企業基盤整備機構のアドバイザーをしている。鯖江は子育て世帯に優しいまち、ものづくりが盛んなまち、移住支援に力を入れているという印象。

施設の改修において、ターゲットを子育て世帯の方とするならば、日本文化と触れ合う場であるとよいと思う。漆器や繊維など、子供のうちに遊びながらできるとよいと感じた。

インバウンド化していく時代、子どものうちから日本の文化を知り、身に付けておくことは重要。遊びながら学べる場所になれば、鯖江市は非常に重要な位置づけになる。ものづくり職人との出会いからものづくり文化を知り、将来の職業選択のきっかけになるとよいと思った。

周辺の施設との交流について、道の駅もあると聞き、地域の食文化を子供や若い世代に伝える場所になればよいと思った。文化庁100年フードとして継承していこうという動きもある。

料理ができる場、調理室などあるとよいと感じた

住んでいる人だけでなく、海外から来られた人にもアピールできる施設。海外から3世代で来られる人が多い。

委員長

事務局から出ている案は、おおむねこれでよいのではないかと

事務局の案について、方向性はこれで進むということではよい。

※参加委員全員、事務局案に賛成。

委員長 全ての意見がくみ取れるわけではないが、事務局として全体の意見をなるべくくみ取りながら、ブラッシュアップしたたたき台を出して行ってほしい。

## 議事2 検討委員会の役割（検討部分）について

事務局説明。

委員長 市の提示した委員会の流れは、一般的なもので、他市町でもよくある妥当な流れだと思われる。

ただ、現在は検討段階とういこともあり、あまり、まだ外に情報を出さない方がよい。

※参加委員全員 同意。

委員長 議事はこれで終了。事務局で何かあればお願いします。

事務局 本日の会議は嚮陽会館を複合施設に改修するにあたり、市がどのように考えているかお伝えするもの。不明な点などは事務局まで問い合わせさせていただきたい。意見を踏まえた基本方針のたたき台、整備の方針、スケジュール等を次回には示したいと考えている。

事務局 文化についてもご意見いただき、うれしく感じている。

避難所としての機能を加えるということも検討。

市民主役、パパが主役になれる場所なども、最終的には鯖江らしさ、文化につながると感じている。そういった皆さんの意見が活かされた基本構想としていきたい

以上